

平成29年度第1回岡山県和牛改良委員会 議事概要

- 1 日 時 平成29年6月27日(火)13:30～
- 2 場 所 全農岡山県本部総合家畜市場(真庭市草加部)
- 3 出席者 委員 : 8名 事務局 : 5名
- 4 諮問事項

(1)種雄牛の作出方針について

岡山和牛が本来持っている増体能力と岡山固有の遺伝子を維持しながら肉質の改良を行い、質量兼備の種雄牛づくりを基本方針とし、岡山系血液1/2以上の「岡山系種雄牛」、枝肉重量、ロース芯面積に優れる「増体系種雄牛」及び「肉質系種雄牛」の種雄牛を作出する。

(2)基礎雌の指定及び計画交配種雄牛の選定について

岡山県肉用牛広域後代検定推進事業の平成29年度の基礎雌牛と交配予定種雄牛を選定。また、全国和牛登録協会岡山県支部で実施する岡山和牛改良促進事業で指定されている基礎雌牛リスト(育種素材牛)もあわせて紹介され、これらの産子の中から直接検定にかける種雄牛候補を導入することとされた。

(3)直接検定終了牛の措置について

「新秀矢吹」は、第11回和牛全共宮城大会の候補牛であるため保留とし、全共終了後に対応を検討することとした。

「藤沢花茂」は、発育良好で、体積、均称に優れており、全きょうだいの「藤花沢茂」に比べ、体型面で優れていることから選抜し、後代検定のための調整交配を実施することとした。

「糸花初英」、「藤花沢茂」の2頭については、去勢後肥育することが了承された。

(4)後代検定実施状況について

1)検定終了牛の措置(案)

【新高水】

検定18頭全て検定終了し、肉量、肉質ともに成績が良好であったため、基幹種雄牛に推薦することとされた。なお、本牛は第10回和牛全共長崎大会の1区(若雄)で優等6席に入賞している。

【美咲秋藤】

検定15頭全て終了。すでに平成29年2月14日に開催した本委員会において廃用が決定し、2月22日に廃用淘汰されている。

【茂花矢】

本牛は、死亡壊死症を主因にすでに死亡。検定18頭中15頭で成績判明。

枝肉成績は、肉量・肉質ともにややバラツキが大きく、検定終了後に取扱を決定することとした。

2) 種雄牛の繋養計画について

畜産研究所における種雄牛舎の繋養可能頭数は18頭であり、今後、繋養中の種雄牛を計画的に淘汰する必要があることから、第11回和牛全共終了後に、全共での成績、精液在庫本数及び需要見込み、候補種雄牛の検定成績を考慮して、年度内に3頭を廃用淘汰することとした。

(5) 第11回全国和牛能力共進会について

- ・種牛の部、肉牛の部の候補牛の紹介
- ・今後のスケジュールの紹介